

## 「BE KOBE」に込められた理念

2015年1月17日、阪神・淡路大震災から20年が経過しました。

20年間の復興の過程で、神戸ではさまざまな社会課題解決のための市民活動や、市の事業が行われてきました。

また、震災の経験を活かし、多くの神戸市民が東日本大震災被災地をはじめ、日本各地、世界各地で支援を行ってきました。

神戸市では震災20年を機に、神戸で生まれた震災の教訓や知恵を集め、多くの人に発信する「震災20年 神戸からのメッセージ発信」プロジェクトを実施しました。このプロジェクトの中で、「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いを集約したロゴマーク「BE KOBE」が生まれました。

今後、このロゴマーク「BE KOBE」に込められた理念と未来へ向かう神戸の姿を広く発信し、神戸市民であることを誇りに思う「合言葉」として定着させ、シビックプライドの醸成を目指していきます。

## 「BE KOBE」が出来るまで

**皆さんの思いをお聞きしました。**

「震災を体験した人」と「震災を体験していない神戸市民」の皆さんへのアンケートを行いました。（アンケートの結果はこちらの特設サイトで公開しています）

**皆さんの思いを語り合う「場」を開催しました。**

「震災20年を語ろう」と題して、「神戸の経験を、日本に、そして世界に伝えるために何が可能か？」をテーマに、集まった皆さんが自由に語り合えるワークショップを開催しました。

**思いを集めたロゴマークとキャッチコピーを作成しました。**

インタビュー、アンケート、ワークショップで集めた市民の思いを具体的に表現する、ロゴマークとキャッチコピーを作成しました。